

2022年10月21日  
No.2203

# 現 評

## 愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市中区三の丸3-2-1  
愛知県東大手庁舎4階  
代 表 052-951-4036  
F A X 0120-930-340  
http://www.aichikenshoku.gr.jp  
gengyou19@aichikenshoku.gr.jp

- 人事課との意見交換会
- 定期大会開催と代議員選出
- 愛護センター指導員と保健医療局との意見交換

### 処遇の改善・採用方法等 人事課と意見交換会

春以降に職場代表者会議などで現業組合員から意見聴取してきた、主任級昇任の早期化などの課題について、10月12日に人事課と意見交換を行いました。

意見交換の主な内容は、次のとおりです。

#### 1 現業職員の給与・処遇関係について

① 現業職の初任給は、技術職、技能職とも行政職にくらべかなり低い水準であり、正規職員の確保の妨げになっている。

質の高い職員を確保するためには、初任給を始め高年齢層も含めた全体の処遇の改善が必要と考える。

●人事課：10月11日に愛知県人事委員会からの報告・勧告があった。

人材確保の観点を踏まえ、初任給について大幅な引き上げを含めて若年層の給与の引き上げが勧告されており、勧告どおり改定されれば、初任給を始め若年層給与は引き上がる。

なお、現業給与表は、国や行政職と比較しながら組合との交渉も踏まえ策定しており、妥当と考えている。

② 現業業務の特殊性・専門性が2010年に「現

業業務あり方見直し」をしたときに比べ高度化していると認識しているが、当局はどのように考えているか。

●人事課：現業業務については、見直し当時から変化はしていると思うが、高度化しているとの認識はない。

③ 基準職務が各級で定められているが、現業における「主査級」「主任級」の役割はどのようなものか。また、定年延長により「主査」が増えることが考えられるが、「主任主査」などの設置は考えているか。

●人事課：各職において役割の明示はされており行政職での「主査級」は「自ら考え業務を実施する」と考えられている。

人事評価においても、それぞれに役割を示し評価を実施しているところである。

④ 会計年度任用職員の級水準は依然低く、人材の継続的な確保が難しい。行政職などの職種間での均との考え方も理解できる

が、低位号給の改善をお願いしたい。

職員募集をかけても近隣の民間募集と比べ処遇に差があり、応募がない状況であり、業務へ支障があるばかりでなく、利用者への利便性の低下や負担増などの影響が出ている。

●人事課：会計年度任用職員の給与制度については、国のマニュアルに沿って設計している。

昨年度、最低賃金の引き上げにより、最低賃金を下回る号給が発生したことから最低賃金を下回ることな

(裏面に続く)

### 現評定期大会を開催

12月10日(土)14:30～アイリス愛知

10月17日付で代議員選出依頼を送付しましたので、選出をお願いします。

代議員数は、各職場1人、10人を超える職場は2人です。



いよう特例を設けたところである。

また、本年の県人事委員会勧告に伴う給与改定が実施されれば、改定による引上げを反映して、会計年度任用職員の給与も改定される。

## 2 現業職員の採用 関係について

① 採用にあたっては、現業職員の要望も踏まえて採用時期を早くし、現場での適性を把握できるようにしていただいている。引き続き同様の対応をお願いするとともに、改めて次の事項を確認したい。

② 現時点で次年度の採用方法や時期の変更予定はあ

## 動物管理指導員部会 保健医療局と意見交換



動管指導員部会メンバー等が参加し意見交換

今年度末の正規職員1名の補充および一般職非常勤職員の任期満了の後補充や、主任・主査級昇任の早期化、動物管理車の更新等について、9月2日に医療計画課、生活衛生課と意見交換を行いました。

以下、保健医療局からの回答

☆退職補充について

●これから人事課と調整するが、げんじてんいおいて削減する予定はない。

●来年度に本所1台、尾張支所1台のの更新予算を要求している。

●事務職とするのか指導員とするのか所属内で決定し募集してほしい。

●管理棟については、長寿命化計画との兼ね合いがある。

●現時点で情報がなく、回答することができない。

●人事課：本人の希望を踏まえた配置は必要と考えるが、現業職の特殊性もあり職種間の異動については考えていない。

●現業職における主査は

●人事課：病院事業庁から特に話はきていない。



## 3 その他

材を確保することが必要と考えており、募集人員内であつても適正な人材で内と判断されれば採用はしない。

① 定年延長により、高齢職員の増加も考えられるが、加齢による体力の衰えなどから事故やけがのリスクが高くなる懸念される。

体力面などを踏まえた本人の希望による現業職種間の異動も選択肢として65歳まで安心して働くことができ職場環境の整備をお願いしたい。

また、60歳以降は7割水準の給与となるが、「同一労働、同一賃金」の考え方とは矛盾があるのではないかと考える。

② がんセンターの給食業務の委託化が進めば、職種変更などが必要となると思うが、病院事業庁から委託化などについての話はあ



現業職の切実な思いを伝えた